



# 辰野町 議会だより

編集・辰野町議会広報委員会  
発行・辰野町議会



～実りの秋 到来!～

第**35**号  
平成21年(2009年)  
11月1日



城前橋渡初め



## 9月定例会

総務産業建設常任委員会より	.....	P 2～4
社会福祉教育常任委員会より	.....	P 5～8
議会活動報告	.....	P 8
編集後記	.....	P 8

委員会活動から

# 総務産業建設常任委員会

- 平成20年度一般会計決算審査、特別会計等決算審査
- 陳情審査
- 現場視察報告



## 一般会計決算審査

歳入の全部と歳出の内、議会費、総務費、衛生費のうち水道費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、公債費、予備費について決算審査を行い、認定としました。

### 歳入

一般会計決算の歳入は、対前年比3.9%の減となり、自立5年目を迎え厳しい経済状況の中、昨年を若干下回る額となりました。

主要財務比率では、財政力指数0・571、経常収支比率86・9%、公債費比率12・1%、公債費負担比率15・7%、実質公債費比率18・2%、将来負担比率92・5%となつていきます。各比率とも短期間での改善が見られ、携わる職員の努力が見える数値となりました。

## 歳出

■議会費  
歳出の1.1%を占め、前年度より79万3千円の増額となりました。

これは、議員報酬及び議会運営に関する経費が主なものです。

### ■総務費

歳出の14・4%を占め、前年度より1億3,344万4千円の増額となりました。

主なものは、行政事務委託金、事務機リース料、公用車2台購入、旧川島児童館用地購入、湯にいくセンター指定管理委託料、たつのパークホテル修繕工事、開発公社振興委託料、低額給付金、全国瞬時警報システムの導入、システム機器購入、ワイトモ公式訪問などです。

委員から国際交流について時代の変化に合せ、アジアに目を向けた交流も大切ではないかとの意見がありました。又、企画費の中の備品購入費として製氷機購

入とあるが設置場所はどこかの質問に対し、パークホテル厨房への設置であり、備品は町負担の契約になっていて。との説明がありました。

### ■衛生費のうち水道費

起債償還等町負担金及び簡易水道への繰出金が主なものです。

### ■農林水産業費

歳出の3.6%を占め昨年度より2,066万1千円の増額となりました。

農業総務費の主なものは、農業集落排水処理施設特別会計繰出金です。



全国瞬時警報システム

農業振興費は宮農組合の機械導入補助金が主なものです。

土地改良事業費は、元気な地域づくり交付金事業大日尻地区の水路工事が主な事業です。

資材地域支援事業では、小野地区他19箇所への材料支援が主なものです。委員から林業費の松くい虫被害対策負担金についての質問に対し、辰野町への被害は出ていないが、上伊那全体の問題であり箕輪町まで北上している。予防措置から大切な負担金とのことです。松くい虫監視員への情報もお願いしたいとの説明がありました。

経営基盤確立農業構造改善事業費は、土づくりセンター運営のための経費が主なものです。委員から毎年修繕費がかかっているが酪農家の減少から生ごみなどによる堆肥づくりの検討が必要ではないかとの質問に、今後は、調整を図り方向を検討したいとの説明がありました。

森林総合施設管理費のし

だれ栗森林公園内施設屋根塗装工事について委員より、発注金額設定時の見積りは2社から取るべきとの質問に対し、金額により改善したいとの回答がありました。

有害鳥獣対策では、イノシシ対策として、電気柵を推進し十分な効果をあげています。しかし同じ電気柵でも、サルや鹿などに効果が少なく、今後、効率的な対策を考えてほしい、との要望が出されました。

**■ 商工費**  
歳出の3.3%を占め、昨年度より1,126万3千円の増額です。中小企業振興資金の融資の保証及び利子補給、商工業誘致及び振興補助金、お祭りステージ設置工事、ほたる童謡公園安全防護柵設置工事が主なものです。

**■ 土木費**  
歳出の16.2%を占めています。前年度より2,258万円の増額です。新町後山地区土地取得や



辺地総合整備事業現場視察

土地開発公社への繰出金が主なものです。

道路維持費では、除雪委託料、修繕工事が主なものです。

城前橋改築工事は、町道1号城前線歩道改築工事が主なものです。委員より町道1号城前線物件移転補償費は何かとの質問に、辰野中学校樹木移転費用であるとの説明がありました。

町営住宅管理費は、古い住宅の改造など修繕に係る費用が主なものです。

道路新設改良費は、町道5号線下辰野胡桃淵改良工事他町道7路線の改良が主なものです。

道路舗装費は、町道10号線の舗装工事、辺地総合整備事業費は町道2073号線の改良舗装工事費及び土地購入費です。  
天竜川改修事業費については、委員より天竜川排水樋管操作委託料について国から受託金があるのかとの質問に対し、受けているとの回答でした。

**■ 消防費**  
歳出の4.3%を占め、昨年度より1,614万6千円の減額です。  
分団、区の防災力向上のために耐震性貯水槽新設工事4基、消火栓新設・移転工事4基及び消防ポンプ用ホースの補助が主なものです。

**■ 災害復旧費**  
昨年度より9億6,070万9千円の大幅な減となりました。  
主な事業は、現年災町単災害復旧事業として町道14号線竹の沢他2箇所工事です。

**■ 公債費**

歳出の13.2%を占め、昨年度より6,835万4千円の減額となっています。総額10億0372万9千円、内訳は、起債元金8億8,830万円、起債利子1億1,542万円です。



**● 特別会計決算審査**

**・有線放送会計**  
町に移管されて以来12年が経過しました。今後は施設の保守管理に努め、有効活用を図りつつ、ほたるチャンネル放送の充実にも努めて行きたいとの報告がなされました。有線放送システムの早期再編実現についての質問に、現在アンケートなどの取組みが行われ、結果を見て対応するとの回答がありました。  
特別会計決算審査の結果、すべての議案について委員全員一致で認定しました。

- ・上水道事業会計
- ・簡易水道会計
- ・小野簡易水道会計
- ・公共下水道会計
- ・特定環境保全公共下水道会計

・農業集落排水処理施設会計  
以上の6会計について、水道水の安定供給に努めると共に下水道についても、水洗化率や各会計の未集金の回収向上に向けた要望・意見が出されました。



ほたる童謡公園安全防護柵

# 陳情審査

## 核廃絶と恒久平和を

### 求める陳情について

提出者  
 連合長野 会長 近藤 光  
 上伊那地協 議長 竹内啓剛

本陳情は、2000年の核拡散防止条約（NPT）再検討会議では、全面的な核兵器廃絶を約束したはずですが、2005年の同会議では実質合意がでず核兵器・核軍縮はもとより、核不拡散体勢そのものが危機的状況に直面しています。

核兵器の廃絶と恒久平和実現のため、被爆65周年を迎える2010年に開催の核拡散防止条約（NPT）再検討会議に向けて実効性ある核軍縮・不拡散外交に主導的に取組む事を強く求める意見書を政府関係機関に提出を求める陳情です。審査の結果、委員から辰野町議会は「昭和33年7月15日平和都市及び核非武装宣言」を議決していること。趣旨に異論がなく、全員一致で採択と決しました。



平和都市及び核非武装宣言看板

## 核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書

ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ヒバクシャ。この訴えは、核兵器廃絶と恒久平和を願う私たち被爆国民の心からの叫びであります。

米国、ロシア、英国、フランス、中国の核保有5カ国に加えNPT未加盟のインド、パキスタンは核兵器を保有し、さらに事実上の保有国であるイスラエル、核兵器開発に繋がるウランを濃縮・拡大するイラン、そして核実験をした北朝鮮の動向などは核不拡散体制を

大きく揺るがしています。

よって、政府において核兵器の廃絶と恒久平和実現のため、被爆65周年を迎える2010年に開かれる核拡散防止条約（NPT）再検討会議に向けて、実効ある核兵器廃絶の合意がなされるべく核軍縮・不拡散外交に強力に取り組みされることを要請します。

以上の意見書を内閣総理大臣など関係機関宛に提出しました。

## 家族従業者・女性の人権保障のため「所得税法56条の廃止」を求める意見書

提出者 県商工団体連合会  
 婦人会協議会  
 組合長 小野 百合子

本陳情は、農業・商工業などの自営業者は、地域経済・地域社会の担い手として、大きく日本経済を支える役割を果たしています。その自営業を構成しているのは、多くの女性・青年を含む事業主であり、家族従業者です。

しかし、家族が力を合せて働いて得た所得は、所得

税法56条の「配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払は、必要経費に参入しない」との規定によつて、すべて事業主の所得とみなされています。これは、家族従業者一人ひとりの自立した個人としての労働収入と人権を保障しないという重大な問題です。

以上、税法上も民法・労働法や社会保障上でも、人として尊重される憲法に保障された権利を求めるために、所得税法56条の廃止を求める意見書を採択し政府に対し意見書を提出してほしい。との請願です。

審議の結果、採択を求める委員から、明治時代の家父長制度そのままに、人格や労働を認めない人権侵害の法律で家族従業者・業者婦人を苦しめており56条廃止を求める発言がありました。継続審査を求める委員からは、自営業者の青色申告及び白色申告の制度があり、選択の余地もある。さらに研究をすべきとの意見が出され、採択の結果継続審査と決しました。

# 現場視察

総務産業建設常任委員会では、委員会最終日に平成20年度実施した事業

■上野辺地道路改良工事  
 ■ほたる童謡公園安全防護柵設置工事

■かやぶきの館施設修繕工事

■川島門前地区耐震性貯水槽新設工事  
 各現場を視察しました。



かやぶきの館 能舞台修繕

委員会活動から

# 社会福祉教育常任委員会

- 平成20年度一般会計決算審査、特別会計等決算審査
- 条例審査 ●陳情審査 ●現場視察報告



## ●一般会計決算審査

一般会計歳出のうち民生費、衛生費（水道費を除く）、教育費について審査を行い認定としました。

### ■民生費

社会福祉総務費の灯油購入補助は520世帯への補助でした。また福祉タクシーの利用者は152名で前年度より増加しています。難病手当は53名でした。

保健福祉センター地下室へ水が溜まることから排水ポンプ設置工事に132万9千円かけたとの説明がありました。

福祉車両2台配備の質問に対し、1台は役場で使用、1台は使用希望を各區に募っているとのこと、又使用する区で維持管理費を負担するとの説明でした。

老人保護措置事業で入所措置費の基準についての質問に対しては、基本額と条件による加算額の合計であるとの説明でした。

公費給付事務扶助費の医療費特別給付金は2.5、

000件の実績でした。又あんま・マッサージなど助成対象者の質問では、70歳以上の申請による者です。児童手当は小学校卒業までを対象とし、第1子、2子については、0歳から3歳までは月1万円、3歳から小学校6年まで月5千円が支給されています。また、第3子以上は0歳から小学校卒業まで月1万円が支給されています。

子育て支援センター利用状況の質問では、年間4千組でその内訳は町内2/3、町外1/3です。

子育て支援センター利用状況の質問では、年間4千組でその内訳は町内2/3、町外1/3です。

### ■衛生費

環境衛生費の家庭雑排水汚泥処理委託料の質問では、中学校での発生20㎡を処理するための委託料です。

聖地管理事業の質問では、管理料は一律年間2千円、価格は1号区画18万円、2号区画30万円、3号区画35万円、5号区画54万円です。現在残りは38区画です。

保健対策推進費の妊婦・乳児一般検診委託料が、昨年比倍額はどうしてかの質問に対し、妊婦検診が2回から5回に変更になったとの理由によるものです。

老人保健事業費の在宅歯科検診委託料は、寝たきりに近い方35名に対する費用です。

塵芥処理事業報償費についての質問に対し、4名が月2回、各担当区域を巡回する為の費用とのことでした。

塵芥処理事業の質問では、北大出が年1回3項目、上野が同9項目にわたる処分場水質検査の委託料です。



西小学校耐震工事

### ■教育費

教育総務費は、小中学校耐震2次診断が主なものです。

教育振興費の要保護及び準要保護就学援助費は、小学校で86名、中学校で42名に対する援助費です。

青少年健全育成費の学童クラブの質問では、平日は2時から6時半まで、土曜日は8時半から6時半までの時間で運営しており、現在西小で77名、東小で51名が利用しています。

美術館管理費の質問では、3月から11月まで150日間の開館で40万6千円の入館料でした。

町民会館管理運営費は7つの自主事業と舞台吊物設備改修工事が主なものです。委員から1階ロビーの使用実態について質問があり、今後、会館運営委員会にて検討するよう要請しました。

### 特別会計決算審査

#### 国民健康保険会計

被保険者数は、医療制度改正により75歳以上の方が後期高齢者医療制度へ移行した為の減と、急激な景気悪化による雇用喪失、又団塊世代の退職による加入者増により、総体では年間平均5千849人となりました。歳入歳出差引は1,485万1千円で21年度へ繰り越しとなりました。



後期高齢者支援金は20年度からスタートしたもので2億4,460万円の支援です。保険事業では、人間ドックの補助です。辰野病院での受入れについての質問がありました。受入れはほとんど無く、医師不足の影響が出てきています。

後期高齢者医療特別会計は、75歳以上の方及び65歳以上75歳未満で一定の障害のある方を対象として20年4月1日から創設され、これまでの老人医療制度に代わる制度です。保険料収納率は99・5%と高い数値でした。

#### 第一診療所会計

毎週月・金の2日間1時から5時までの診察と往診で、診療日数91日、診療者数775人、1日平均8.5人、前年比12名の増でした。昨年に引き続き一般会計からの繰入金に頼ることのない運営でした。

#### 川島診療所会計

毎週火曜日1時から5時までの診察で、年間診療日数65日、診療者数406人、1日平均6.5人、前年比59名の減となりました。診療者が減少する中、今後受診者の状況を把握し、往診などでの対応が可能かどうか検討するよう意見が出されました。

後期高齢者医療特別会計は、75歳以上の方及び65歳以上75歳未満で一定の障害のある方を対象として20年4月1日から創設され、これまでの老人医療制度に代わる制度です。保険料収納率は99・5%と高い数値でした。

#### 老人保健医療会計

後期高齢者医療制度の創設により、20年3月の診療分をもって診療給付は基本的に終了となり、平成23年3月まで遡及請求などにかかる給付を行うものです。

#### 辰野総合病院事業会計

20年度は、内科医1名の減により常勤医7名の体制で行ってきた結果として、入院患者数が前年比4,385人の減、外来患者数が1,869人減少しました。その結果、収益では入院で前年比84,765千円の減、外来では19,876千円の減となりました。

事務職員2名の採用は医療ソーシャルワーカー1名、物流管理システム要員1名です。起債の借り換えについては、20年度利率6.6%のものを、1・17%で3億9千4百万円借り換え26年3月25日が償還終期です。

医療機械整備事業として、起債により利率0・75%で借入れX線TV装置の購入、又透析装置等医療機器を導入しました。電子カルテ化の質問に対して、起債により利率0・75%で借入れX線TV装置の購入、又透析装置等医療機器を導入しました。

医療機械整備事業として、起債により利率0・75%で借入れX線TV装置の購入、又透析装置等医療機器を導入しました。電子カルテ化の質問に対して、起債により利率0・75%で借入れX線TV装置の購入、又透析装置等医療機器を導入しました。



透析装置・医療機器

介護老人保健施設会計は、20年度は、17年度に比べて大きく影響している為です。入所者が1日平均48人となり、前年比0.3人増加しているものの、通所者が前年比1.1人減少し4.3人となり、今後の検討課題です。

#### 介護老人保健施設会計

歳入歳出差引は75万8千円余の繰越となつていますが、年々繰越金が減少しており厳しい経営状況となつていきます。これは17年度に4%に及ぶ介護報酬の減額改定が大きく影響している為です。

必要費の節減に努め、おむつ代で65万円程の減少、深夜料金を活用したエコキュートの導入により燃料費を150万円程減少しています。

介護老人保健施設会計は、20年度は、17年度に比べて大きく影響している為です。入所者が1日平均48人となり、前年比0.3人増加しているものの、通所者が前年比1.1人減少し4.3人となり、今後の検討課題です。

必要費の節減に努め、おむつ代で65万円程の減少、深夜料金を活用したエコキュートの導入により燃料費を150万円程減少しています。

#### 介護保険会計

歳入歳出差引は387万円



樋口介護予防「りんごちゃんの会」

21年度への繰り越しとなりました。

介護認定審査会は上伊那広域での共同設置であり、その負担金は要介護・要支援で前年比10名増の753名であり、年々増加しています。介護予防事業委託料の質問では、J A・グレース・社協及び各区で進めている介護予防教室に対する委託料であるとのことです。

以上、付託された議案は、慎重審査の結果、全員一致で認定いたしました。

### 条例審査

■辰野町赤羽介護予防センター設置及び管理に関する条例の制定について

この議案は6月30日竣工の赤羽介護予防センターの設置と管理に関する条例を制定したいとするものです。

設備の修繕を含めた維持管理については、全区の管理となります。

■町立辰野総合病院設置等に関する条例の一部を改正する条例について

当議案は、一般病棟の変更許可に伴い、町立辰野総合病院設置等に関する条例の一部を改正したいとするものであり、「130床」を「125床」に変更するものです。これは訪問看護ステーションが病院内の一室を借用し運営する為の処置であります。

■辰野町公の施設の指定管理者の指定について

この議案は先の辰野町赤羽介護予防センター設置及

び管理に関する条例の制定を受け、指定管理者を指定するものです。



訪問介護ステーション

以上、3条例は全員一致で可決いたしました。

### 陳情審査

■ヒブワクチンの早期定期予防接種化等を求める陳情

提出者  
長野県保険医協会  
会長 鈴木 信光

陳情趣旨に賛同し、趣旨のとおり国に対して意見書を提出すべきであるとして、全員一致にて採択に決しました。

### 意見書

1、ヒブ重症感染症（髄膜炎、咽頭蓋炎、敗血症）を予防接種法による定期接種対象疾患とするにと。  
2、ヒブワクチンの国内の供給体制を確保すること。

■高齢者の肺炎球菌予防接種への公費助成金に関する陳情

提出者  
長野県保険医協会  
会長 鈴木 信光

1、辰野町として高齢者への肺炎球菌予防接種に対して、費用の補助をすること

### 意見書

2、高齢者への肺炎球菌予防接種に対して、公費助成を国に対して求めるもの  
1項については、他市町村の状況からも時期早尚であるとして、全員一致にて不採択としました。  
2項については、趣旨のとおり国に対して意見書を提出すべきであるとして、全員一致にて採択に決しました。

高齢者への肺炎球菌予防接種に対して、公費助成を国に対して求める。

■私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情

提出者  
中信地区私学助成推進協議会  
会長 笠原 真美

この陳情は国・県に対し私立高校に大幅な経常費補助、教育条件改善の為大幅な施設設備費の補助等を求め、又辰野町から中信私学に通う保護者の経済的負担軽減の為、以前制定されていた助成制度の復活を求め





るものです。国・県に対しては、委員全員が陳情趣旨に賛同し意見書を提出すべきであるとして、全員一致にて採択に決しました。  
辰野町の制度復活については、一部議員から賛成意見も出しましたが、他地区との兼ね合も考慮すべきとの意見もあり、採決の結果不採択としました。

- 意見書**
- 1、私立高校への経常費2分の1助成を堅持し、大幅な経常費補助を行うこと。
  - 2、私立高校の教育条件改善のために、大幅な施設設備費の補助を行うこと。
  - 3、私立高校の保護者負担を軽減するため大幅な補助を行うこと。



今村介護予防センター現場視察

**現場視察**

社会福祉教育常任委員会では、9月14日及び23日の両日平成20年度に実施した事業

- 唐木沢介護予防センター
- 今村介護予防センター
- 西小学校耐震工事
- 町民会館舞台吊物設備改修工事

各現場を視察しました。

**議会活動報告**

平成21年度、辰野町・箕輪町・南箕輪村議員研修会が、9月30日箕輪町役場で開催されました。

これは、北部三町村が一致団結し、活動することによって伊那谷全体へ、その力を示し政治・経済はもとより、福祉・教育など、様々な分野での貢献を目指すものです。

それと同時に、活性化が最も進んだ三町村が、伊那谷全体を牽引することによって、しいては長野県全体へその力を波及させていこうとする議員研修の場でもあります。



北部議員研修会



北部議員研修会 現場視察

今回は全体研修として、クリーンセンター八乙女の現状について、事務局長よりその概要の説明を受け、その後、現地視察を行いました。また、今回は初めての試みとして、二つの委員会に分かれて、各町村議会の現況を発表しました。議会と住民との関係、また、日頃の議会活動をいかに広報し、理解していただくかなど、活発な議論がなされました。  
今後、共有の認識の下に、互いに切磋琢磨し、住民の負託にこたえていくことで終わりました。

**編集後記**

黄金色に輝いていた田んぼの稲穂がすっかり片付いたのが、つい先日のように感じていたのに、早いもので、もう「立冬」を迎える時期となりました。

「議会だより」は、町の広報などと記事がなるべくダブらぬように、また町民の皆様方に読みやすく、理解して戴けるよう、記事・写真集めなどの編集作業に悪戦苦闘の連続です。

今後もし引き続き、効率的な編集活動に心掛けようと話し合っております。町民の皆様方の率直なご意見・ご感想をお寄せください。

前回の34号(九月号)で、編集ミスから2ページ目、「議会議長名」を誤ってしまいました。

大変ご迷惑をお掛けしました関係者、また町民の皆様にご心よりお詫び申し上げます。

議会広報委員会